

Ⅲ 質問と回答



第49回 荒川区 区政世論調査

～回答にご協力をお願いします～

この調査は、区民の皆様のご意見を区政に反映し、区の施策・事業等を適切に実施していく基礎データとするため、住民基本台帳から無作為に抽出した3,000名の方を対象として、アンケート形式で実施するものです。調査の結果はすべて統計的に処理するとともに、調査への回答を区政世論調査以外に使用することは決してありません。調査結果は来年2月頃に区報で紹介するほか、区役所地下1階の情報提供コーナーや各区立図書館、荒川区ホームページで報告書を閲覧することができます。



回答期限 令和6年9月30日まで

▼郵送で回答する場合

この調査票に回答をご記入ください。

- ・質問は、3ページから始まります。
- ・選択肢の番号に○印を付けてください。
- ・「その他」を選ばれた場合は、()内にその内容をご記入ください。

同封した緑色の返信用封筒に、回答を記載した調査票（本書）を折り曲げて入れ、**回答期限（令和6年9月30日）**までに、ポストにご投函ください。※切手は不要です。

▼インターネット（パソコンやスマートフォン）で回答する場合



QRコードまたはURL (<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a003/kouhou/kouchou/yorontyousa/gokyouryokunoonegair5.html>) から回答フォームにアクセスし、ID（半角）を入力してください。

ID : 12345

※このIDは、インターネットにより回答を行うためのもので、個人を特定するものではありません。

- ・**回答期限（令和6年9月30日）**までにご回答をお願いします。
- ・前のページに戻る場合は、画面内の「戻る」ボタンを使用してください（ブラウザ、スマートフォンの「戻る」機能は使えません）。
- ・回答を中断する場合は、画面を閉じてください。再開する場合は、回答フォームに再度アクセスすると、前回「次へ」のボタンを押した次のページからスタートできます。
- ・回答の最後に「回答確認画面」が表示されたら、「送信」ボタンを押してください。「回答完了」画面が表示されたら終了です。

※通信サービスの接続料金は、利用者様のご負担となります。

※必ず宛名のご本人が、回答くださるようお願いいたします。ただし、ご事情により、ご本人による記入が難しい場合は、ご家族の方が代わりに記入していただいても構いません。

※本調査で、区の職員や調査員が訪問や電話をすることはありません。

(親族や区役所職員・警察官等をかたった特殊詐欺が多発しています。ご注意ください。)

担 当／荒川区秘書課総合相談係
電 話／03-3802-3229 (直通)
受付時間／月～金、8：30～17：15
※祝日を除く

委託先／株式会社アダムスコミュニケーション
電 話／03-6847-5757 担当：大塚
受付時間／月～金、10：00～18：00
※祝日を除く

これまでの世論調査では、調査結果をこのようなことに活用しています

調査テーマ

公園の利用について

調査結果

公園を利用する目的について聞いたところ、「散策・自然観察」、「休憩・やすらぎ」、「運動」、「トイレ利用」、「遊び場」が上位を占めています。

活 用

調査結果を踏まえ、公園の整備や改修を行う際には、四季を感じられる植栽、休憩場所（ベンチ、日よけ）などを充実させるとともに、子どもに人気のボール遊び場や大人も気軽に運動できるフィットネス器具などの設置を進めています。

また、公園のトイレについては、誰もが快適で安心して利用できるようバリアフリートイレの設置や洋式化等の改修に計画的に取り組んでいます。



居住と生活環境

問1 荒川区にお住まいになって何年になりますか。(〇は1つだけ)

1	5年未満	14.9%	2	5～9年	10.9%	3	10～19年	19.4%	4	20年以上	54.3%
										無回答	0.5%

問2 これからも荒川区にお住まいになりますか。(〇は1つだけ)

1	住み続ける	55.9%	2	当分の間は 住むつもり	34.2%	3	できれば 転居したい	2.6%	4	転居する つもり	2.3%	5	わからない	4.6%
													無回答	0.4%

→問2で「1」、「2」とお答えの方に伺います

問2-1 その主な理由は何ですか。次の中からお選びください。(〇はいくつでも)

1	住み慣れているから	61.3%	9	子どもの教育のため	3.4%
2	自分の家(土地)だから	53.6%	10	地域での人間関係が良いから	16.2%
3	家の広さなどの居住環境が良いから	14.2%	11	自然や街並みなどの生活環境が良いから	11.1%
4	家賃(地代)が安いから	8.5%	12	文化や教育などの公共施設が整備され	
5	通勤・通学に便利だから	38.0%		ているから	6.0%
6	買い物など毎日の生活の便が良いから	42.6%	13	まちの雰囲気が好きだから	17.8%
7	仕事や商売の関係で都合だから	8.8%	14	その他()	3.7%
8	保育園、幼稚園、ひろば館・ふれあい 館など子育て環境が充実しているから	5.5%		無回答	0.5%

→問2で「3」、「4」とお答えの方に伺います

問2-2 その主な理由は何ですか。次の中からお選びください。(〇はいくつでも)

1	自分の家(土地)ではないから	31.4%	9	子どもの教育のため	5.7%
2	家の広さなどの居住環境が悪いから	24.3%	10	地域での人間関係が悪いから	7.1%
3	家賃(地代)が高いから	20.0%	11	自然や街並みなどの生活環境が	
4	相続税、固定資産税の負担が重いから	4.3%		悪いから	8.6%
5	通勤・通学に不便だから	8.6%	12	文化や教育などの公共施設が整備	
6	買い物など毎日の生活の便が悪いから	10.0%		されていないから	4.3%
7	仕事や商売の関係で不都合だから	4.3%	13	まちの雰囲気が嫌いだから	11.4%
8	保育園、幼稚園、ひろば館・ふれあい 館など子育て環境が充実していないから	1.4%	14	その他()	35.7%
				無回答	2.9%

ここからはすべての方に伺います

問3 現在の荒川区を住みよいと思いますか。(〇は1つだけ)

1	非常に住みよい	19.9%	2	まあまあ 住みよい	69.6%	3	やや住み にくい	6.6%	4	住みにくい	0.8%
										無回答	3.0%

問4 今後、荒川区のまちづくりを進めていく上で重要な課題と思われるものを、次の中からお選びください。
(〇は3つまで)

1 住宅・住環境の整備	21.3%	8 歴史・文化を大切にしたい街並みの 保全や景観の整備	9.5%
2 道路の整備	20.9%	9 自然や環境に配慮したまちづくり	20.0%
3 交通網の整備	12.3%	10 歩道の段差解消など高齢者・ 障がい者に配慮したまちづくり	33.0%
4 駅前などの開発整備	32.4%	11 その他 ()	8.7%
5 公園・緑地の整備	16.5%	12 わからない	2.7%
6 建物の不燃化などの防災まちづくり	33.5%	無回答	4.6%
7 水辺環境などをつくる隅田川沿岸の整備	12.4%		

地域とのつながり・暮らし

問5 あなたは、地域の行事や活動に参加していますか。(〇は1つだけ)

1 いつも参加している	5.0%	3 ほとんど参加していない	33.7%
2 時々参加している	26.4%	4 まったく参加しない	20.7%
		5 行事を知らない	13.2%
		無回答	1.0%

→ (問5で「1」、「2」とお答えの方に伺います)

問5-1 次のうち、どのようなものに参加していますか。(〇はいくつでも)

1 町会・自治会の活動	43.4%	8 高齢者・障がい者等の支援	6.5%
2 お祭りなどの地域の催し	72.8%	9 動物愛護に関する活動	1.1%
3 交通安全や、防災・防犯に関する活動	19.6%	10 子育て支援	8.1%
4 趣味、娯楽、自己啓発等のサークル活動	17.3%	11 緑化推進に関する活動	3.1%
5 スポーツ・健康(ラジオ体操、ころばん 体操等)に関する活動	18.7%	12 学校行事・教育に関する活動	18.0%
6 読書や文化啓発に関する活動	4.5%	13 その他 ()	1.3%
7 環境美化・リサイクルに関する活動	12.8%	無回答	0.0%

→ (問5で「3」～「5」とお答えの方に伺います)

問5-2 次のうち、興味のあるものまたは参加してみたいと思うものはありますか。(〇はいくつでも)

1 町会・自治会の活動	3.9%	8 高齢者・障がい者等の支援	6.7%
2 お祭りなどの地域の催し	28.1%	9 動物愛護に関する活動	9.7%
3 交通安全や、防災・防犯に関する活動	6.9%	10 子育て支援	8.9%
4 趣味、娯楽、自己啓発等のサークル活動	23.1%	11 緑化推進に関する活動	7.4%
5 スポーツ・健康(ラジオ体操、ころばん 体操等)に関する活動	17.0%	12 学校行事・教育に関する活動	4.3%
6 読書や文化啓発に関する活動	11.8%	13 その他 ()	1.9%
7 環境美化・リサイクルに関する活動	9.0%	14 特になし	30.5%
		無回答	6.0%

防災対策

ここからはすべての方に伺います

問6 災害時に備えた食料や飲料水の備蓄について、どのような取組をしていますか。

(「1」、「2」、「3」は、〇はいくつでも)

1 備蓄用として販売されている長期間保存用食料等（アルファ化米、乾パン、保存水等）を備蓄している	34.0%
2 普段使っている食料等（パックご飯、レトルト食品、缶詰、カップ麺、お菓子類、ペットボトル飲料（水・お茶等））を多めに購入しておくようにしている（日常備蓄）	64.5%
3 自宅ではなく、マンションの管理組合等の倉庫で備蓄している	5.7%
4 備蓄はしていない	19.6%
無回答	1.7%

問6で「1」～「3」とお答えの方に伺います

問6-1 何日分の備蓄をしていますか。(〇は1つだけ)

※備蓄用として販売されている食料等だけでなく、普段使っている食料等（パックご飯、レトルト食品、缶詰、カップ麺、お菓子類、ペットボトル飲料（水・お茶等））を多めに購入している分（日常備蓄）も含めてご回答ください。

1 7日分以上の備蓄をしている	11.9%	2 3日以上、7日分未満の備蓄をしている	49.8%	3 3日分未満の備蓄をしている	36.7%
				無回答	1.7%

問6で「4」とお答えの方に伺います

問6-2 食料や飲料水の備蓄を行っていない理由について、次の中から当てはまるものをお選びください。

(〇はいくつでも)

1 何をどのくらい備蓄すれば良いかわからないから	36.8%	4 地震や水害が起きる可能性は低いから	4.0%
2 災害時には行政やボランティア等が飲料等を提供してくれるから	2.5%	5 お金がかかるから	20.2%
3 備蓄物資の入替や管理が面倒だから	32.1%	6 備蓄物資を置くスペースがないから	44.0%
		7 その他（ ）	10.5%
		無回答	1.8%

《7日間以上の備蓄を推奨しています》

首都直下地震等により大きな災害が発生した際は、長期間物流が滞り、また電気、ガス、水道などのライフラインが一週間以上、復旧しない状態も考えられるため、区民の皆様に7日間以上の食料や飲料水等の備蓄【※】を推奨しています。

【※】備蓄量の目安（大人1人、1日あたり）飲料水3ℓ、食料3食分

また、普段使っている食料等を少し多めに購入し、日常的に消費しながら、家の中に常に一定の食料や飲料水等を確保しておく「日常備蓄（ローリングストック法）」を推奨しています。長期保存用食品でなくても、この方法であれば負担が少なく備蓄することができます。

備蓄品は特別な保存食である必要はなく、日常使う食品で、保存できるもので構いません。（パックご飯、レトルト食品、缶詰、カップ麺、お菓子類、ペットボトル飲料（お茶など））

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/a013/bousai/sonae/nitijoubitiku.html>



ここからはすべての方に伺います

問7 あなたの家庭では、災害用トイレ（携帯トイレ、簡易トイレ）を備蓄していますか。

（〇は1つだけ）

1 備蓄している	46.6%	2 備蓄していない	52.5%
		無回答	0.8%

問7で「1」とお答えの方に伺います

問7-1 トイレの平均回数は、大人1日5回と言われています。何日分の災害用トイレ（携帯トイレ、簡易トイレ）を備蓄していますか。（〇は1つだけ）

1 7日分以上の備蓄をしている	15.8%	2 3日以上、7日未満の備蓄をしている	37.6%	3 3日未満の備蓄をしている	46.4%
				無回答	0.2%

問7で「2」とお答えの方に伺います

問7-2 災害用トイレ（携帯トイレ、簡易トイレ）を備蓄していない理由を次の中からお選びください。

（〇はいくつでも）

1 どのくらい備蓄すれば良いかわからないから	39.2%	4 どこで買うかわからないから	24.9%
2 災害時には行政やボランティア等が提供してくれるから	5.9%	5 お金がかかるから	20.3%
3 入替や管理が面倒だから	14.4%	6 置くスペースがないから	30.4%
		7 その他（ ）	12.1%
		無回答	1.1%

災害発生時に自宅に被害が無く安全な場合、自宅に留まる在宅避難が有効ですが、災害時には停電、断水、排水管の破損などで自宅の水洗トイレが使えなくなる恐れがあります。
また、避難所の仮設トイレは、多くの人が利用することから非常に混雑し、衛生状態が悪くなりがちのため、出来るだけトイレに行く回数を減らそうと水分や食事を控える傾向になると言われています。
災害時には食料、飲料水の確保と同様に、トイレ対策が重要となります。

ここからはすべての方に伺います

問8 あなたの家では、地震に備え、家具類の転倒・落下・移動防止対策器具の設置を行っていますか。

（〇は1つだけ）

1 大部分の家具類に対策を行っている	13.1%
2 一部の家具類だけに対策を行っている	28.6%
3 家具類が転倒・落下等しても身に危険が及ばないように、家具類の配置を工夫している	21.8%
4 クローゼット等に収納しており、倒れるような家具類は置いていない	9.4%
5 行っていない	25.4%
無回答	1.7%

問8-1へ

問8で「2」、「5」とお答えの方に伺います

問8-1 区で家具類の転倒・落下・移動防止対策器具の設置に5千円～2万円（条件有）の助成金が出る制度がありますが、一部の家具類だけに設置を行っている、または設置を行っていない理由を教えてください。（〇はいくつでも）

1 固定する方法がわからない、または固定するのが難しいから	24.7%	5 固定しても効果がないと思うから	7.2%
2 賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、壁に傷をつけることができないから	20.3%	6 お金をかけたくないから	8.1%
3 持ち家に住んでおり、家具や壁に傷をつけたくないから	8.1%	7 助成制度を知らなかったから	47.6%
4 地震が起きても転倒・落下等しない、または転倒・落下等しても危険ではないと思うから	15.1%	8 設置が面倒だから	22.5%
		9 その他（ ）	7.5%
		無回答	2.5%

ここからはすべての方に伺います

問9 地震発生時の通電火災を防ぐために、強い揺れを感知した時に電気を自動的に止める「感震ブレーカー」の設置状況についてお答えください。（〇は1つだけ）

1 全額自己負担で感震ブレーカーを設置した	5.2%
2 助成金を活用して感震ブレーカーを設置した	2.9%
3 東京都が無料配布したコンセントタイプ感震ブレーカーを設置した	5.2%
4 居住する前から感震ブレーカーが設置されていた	9.9%
5 感震ブレーカーを知っているが設置していない	19.7%
6 本設問まで感震ブレーカーを知らなかった	52.8%
無回答	4.2%

問9で「5」とお答えの方に伺います

問9-1 荒川区では感震ブレーカー等の設置について、5千円～10万円（条件有）の助成金が出る制度がありますが、「感震ブレーカー」を設置していない理由を次の中からお選びください。（〇はいくつでも）

1 設置する方法がわからない、または設置するのが難しいから	24.7%
2 賃貸住宅や借家、寮等に住んでおり、設置できないから	19.7%
3 分電盤が古く、感震ブレーカーを取り付けることができないから	5.7%
4 電気が突然止まると困るから	5.0%
5 設置しても効果がないと思うから	3.9%
6 避難時等にブレーカーを切る等、感震ブレーカー設置以外の通電火災対策をしているから	7.2%
7 お金をかけたくないから	9.0%
8 助成制度を知らなかったから	35.5%
9 設置が面倒だから	18.6%
10 その他（ ）	11.1%
無回答	0.4%

荒川区では、家具の転倒・落下防止器具や感震ブレーカーの購入・設置費用の助成を行っています。また、高齢者のみの世帯や障がい者のいる世帯等には、簡易型感震ブレーカー及び自動点灯ライトの無料配付事業も行っています。事業の詳細は、区ホームページで確認できます。

<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/bousai/sonae/index.html>



ここからはすべての方に伺います

問10 ご自宅にある消火器具を全て選択してください。（「1」、「2」は、〇はいくつでも）

1 消火器（ピンを抜いてレバーを握ることにより噴射するもの）	48.4%
2 エアゾール式消火具（殺虫剤のようなスプレー式のもの）	9.3%
3 消火器具は置いていない	42.7%
無回答	2.4%

火災による被害を抑制するためには、消火器具による初期消火活動が効果的です。いざという時のために、家庭に消火器具を備えましょう。

区では、初期消火体制の強化を図るため、区内全域に地域設置消火器を 4,000 本以上配備しています。

読書習慣・図書館の利用

問11 あなたは、本・雑誌（漫画は含まない）を1か月平均何冊くらい読みますか。（〇は1つだけ）

1 0冊	39.7%	3 4～6冊	9.4%	5 10～14冊	1.9%
2 1～3冊	43.8%	4 7～9冊	2.0%	6 15冊以上	1.9%
				無回答	1.3%

問12 過去1年以内に区立図書館を利用した頻度はどのくらいですか。（〇は1つだけ）

1 週1回以上	5.2%	3 2、3か月に1回程度	10.8%	5 0回	54.0%
2 月1回以上	13.7%	4 年1～2回程度	14.6%	無回答	1.6%

→問12で「1」～「4」とお答えの方に伺います

問13 あなたが区立図書館に行って良かったことは何ですか。（〇は3つまで）

1 本・雑誌が充実している	69.3%	5 飲食や会話も楽しめ、長時間ゆっくりくつろいで過ごすことができる	25.2%
2 本や資料のほか、インターネットサービスや職員のアドバイスにより調べたいことが解決できる	15.8%	6 自分自身がボランティアなどの活動を行うことができる	1.1%
3 地域の文化や歴史、区民向けイベントなどの情報を知ることができる	13.1%	7 図書館だけでなく身近な施設や店舗で読書ができる	5.6%
4 小さな子どもと一緒に楽しく過ごすことができる	18.6%	8 図書館通帳に読書履歴を記録できる	3.7%
		9 その他（ ）	11.8%
		無回答	2.9%

選挙

ここからはすべての方に伺います

問 14 あなたは、投票日当日に仕事や旅行などで投票所へ行けない方のための「期日前投票制度」の内容を知っていますか。
(○は1つだけ)

1	知っている	88.4%	2	多少知っている	5.0%	3	名前は知っている	2.2%	4	知らない 無回答	3.5% 0.8%
---	-------	-------	---	---------	------	---	----------	------	---	-------------	--------------

問 15 あなたは、旅行先や出張先などの荒川区外の滞在先や病院・老人ホームなどに入院・入所している場合でも投票することができる「不在者投票制度」の内容を知っていますか。(〇は1つだけ)

1 知っている	46.7%	2 多少知っている	10.6%	3 名前は知っている	11.8%	4 知らない	29.7%
						無回答	1.2%

問 16 各種選挙の全体の投票率からみると、若い世代（ここでは18歳以上29歳以下の有権者）の投票率は低いと言われていますが、今後、若い世代の政治や選挙に関する意識を高めるためにはどのようにしたらよいと思いますか。
（〇はいくつでも）

1	政治参加意欲を育てる学校教育の充実	45.3%
2	SNS等を活用した選挙啓発の充実	42.3%
3	政治や選挙に関する家庭内での話し合い	20.0%
4	政策が比較できる選挙情報サイトの紹介	31.2%
5	若い世代に向けたデジタル広告の配信	24.9%
6	若い世代が気軽に参加可能なオンライン形式のセミナーの実施	13.5%
7	その他（ ）	14.1%
8	特になし	9.1%
	無回答	2.8%

※「SNS」は、ソーシャルネットワーキングサービスの略で、登録された利用者同士が交流できるウェブサイトの会員制サービス（LINE、X（旧：Twitter）、Facebook など）のことです。

男女共同参画

区では、性別に関わりなく、誰もが自分らしく生きることができる地域社会の実現を目指して各種の取組を実施しています。その一環として、家庭、職場、学校、地域等、日常生活のあらゆる分野に密接に関係している男女共同参画の取組を推進しています。その関連でお伺いします。

問17 次の分野で、男女の地位は平等だと思いますか。①～⑨について当てはまる番号をお選びください。

(〇はそれぞれ1つだけ)

①家庭	1 4.4% 女性が優遇されている	2 10.1% やや女性が優遇されている	3 17.5% 男性が優遇されている	4 28.6% やや男性が優遇されている	5 34.9% 平等になっている	無回答 4.5%
②職場	1 2.3% 女性が優遇されている	2 8.1% やや女性が優遇されている	3 25.4% 男性が優遇されている	4 30.0% やや男性が優遇されている	5 25.8% 平等になっている	無回答 8.4%
③学校	1 1.1% 女性が優遇されている	2 5.0% やや女性が優遇されている	3 5.5% 男性が優遇されている	4 12.0% やや男性が優遇されている	5 61.6% 平等になっている	無回答 14.9%
④地域活動の場	1 1.6% 女性が優遇されている	2 8.1% やや女性が優遇されている	3 13.1% 男性が優遇されている	4 23.7% やや男性が優遇されている	5 43.4% 平等になっている	無回答 10.1%
⑤政治の場	1 0.8% 女性が優遇されている	2 1.9% やや女性が優遇されている	3 55.8% 男性が優遇されている	4 25.8% やや男性が優遇されている	5 9.7% 平等になっている	無回答 5.9%
⑥法律や制度	1 2.1% 女性が優遇されている	2 9.3% やや女性が優遇されている	3 26.0% 男性が優遇されている	4 26.2% やや男性が優遇されている	5 28.9% 平等になっている	無回答 7.4%
⑦しきたりや慣習	1 0.8% 女性が優遇されている	2 3.7% やや女性が優遇されている	3 40.5% 男性が優遇されている	4 32.7% やや男性が優遇されている	5 16.3% 平等になっている	無回答 5.9%
⑧余暇活動	1 3.5% 女性が優遇されている	2 12.9% やや女性が優遇されている	3 11.2% 男性が優遇されている	4 14.7% やや男性が優遇されている	5 49.9% 平等になっている	無回答 7.8%
⑨社会全体	1 2.1% 女性が優遇されている	2 8.1% やや女性が優遇されている	3 26.9% 男性が優遇されている	4 40.7% やや男性が優遇されている	5 17.2% 平等になっている	無回答 5.0%

問 18 家庭内で主に担当しているのは誰ですか。①～⑤について当てはまる番号をお選びください。(〇はそれぞれ1つだけ)
※②～⑤は、該当がある場合のみお答えください。

①家事（炊事・洗濯・掃除など）	1 47.9% 主に自分	2 17.4% 主に配偶者（またはパートナー）	3 6.1% 主にその他の家族	4 24.5% 家族で分担	5 0.2% 家族以外（民間・行政サービス含む）	無回答 3.8%
②子育て（子どもの世話、しつけ、教育など）	1 21.8% 主に自分	2 11.7% 主に配偶者（またはパートナー）	3 2.5% 主にその他の家族	4 19.5% 家族で分担	5 0.4% 家族以外（民間・行政サービス含む）	無回答 44.1%
③介護（介護が必要な親の世話、病人の看護など）	1 17.1% 主に自分	2 7.6% 主に配偶者（またはパートナー）	3 4.6% 主にその他の家族	4 17.3% 家族で分担	5 5.2% 家族以外（民間・行政サービス含む）	無回答 48.2%
④PTA活動など、学校行事への参加	1 22.3% 主に自分	2 10.3% 主に配偶者（またはパートナー）	3 3.0% 主にその他の家族	4 11.5% 家族で分担	5 2.1% 家族以外（民間・行政サービス含む）	無回答 50.9%
⑤町会などの地域行事への参加	1 25.5% 主に自分	2 10.5% 主に配偶者（またはパートナー）	3 5.1% 主にその他の家族	4 13.6% 家族で分担	5 3.6% 家族以外（民間・行政サービス含む）	無回答 41.8%

問 19 あなたにとって、仕事、家庭生活（家事、育児、介護など）、個人の時間（趣味、地域活動など）の理想と現実はどのようなになっていますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

理想	1 3.9% 仕事を優先したい	2 14.5% 家庭生活を優先したい	3 25.4% 個人の時間を優先したい	4 45.4% すべての調和を図りたい	5 6.3% わからない	無回答 4.5%
現実	1 32.7% 仕事を優先している	2 21.9% 家庭生活を優先している	3 13.9% 個人の時間を優先している	4 12.7% すべての調和が取れている	5 13.4% わからない	無回答 5.4%

配偶者や同居している交際相手等からの暴力（DV）に関する相談件数は、全国的に高止まりの傾向にあり、区でも同様の傾向にあります。

配偶者や交際相手等の暴力（DV）は、家庭内で行われることから外部からは分かりづらく、気付かないうちに暴力がエスカレートし、被害が深刻化しやすい面があると言われています。

問 20 配偶者や交際相手等の間で次のような行為があった場合、①～⑦についてあなたの考えに近い番号をお選びください。(〇はそれぞれ1つずつ)

①平手で打つ	1 75.9% どんな場合でも暴力に当たる	2 14.8% 暴力に当たる場合と当たらない場合がある	3 2.3% 暴力には当たらない	無回答 7.1%
②身体を押す	1 52.6% どんな場合でも暴力に当たる	2 36.6% 暴力に当たる場合と当たらない場合がある	3 3.6% 暴力には当たらない	無回答 7.2%
③足でける	1 83.0% どんな場合でも暴力に当たる	2 8.3% 暴力に当たる場合と当たらない場合がある	3 1.7% 暴力には当たらない	無回答 7.0%
④身体を傷つける可能性のある物でなぐる	1 88.9% どんな場合でも暴力に当たる	2 2.7% 暴力に当たる場合と当たらない場合がある	3 1.3% 暴力には当たらない	無回答 7.1%
⑤なぐるふりをして、おどす	1 66.1% どんな場合でも暴力に当たる	2 22.4% 暴力に当たる場合と当たらない場合がある	3 4.4% 暴力には当たらない	無回答 7.1%

⑥刃物などを突きつけて、おどす	1 88.6% どんな場合でも暴力に当たる	2 2.1% 暴力に当たる場合と当たらない場合がある	3 1.4% 暴力には当たらない	無回答	7.9%
⑦大声でどなる	1 51.9% どんな場合でも暴力に当たる	2 36.4% 暴力に当たる場合と当たらない場合がある	3 3.9% 暴力には当たらない	無回答	7.9%
⑧他の異性との会話を許さない	1 55.0% どんな場合でも暴力に当たる	2 25.7% 暴力に当たる場合と当たらない場合がある	3 10.4% 暴力には当たらない	無回答	8.9%
⑨家族や友人との関りを持たせない	1 67.3% どんな場合でも暴力に当たる	2 17.6% 暴力に当たる場合と当たらない場合がある	3 6.3% 暴力には当たらない	無回答	8.8%
⑩交友関係や行き先、電話・メールなどを細かく監視する	1 61.0% どんな場合でも暴力に当たる	2 25.0% 暴力に当たる場合と当たらない場合がある	3 5.4% 暴力には当たらない	無回答	8.6%
⑪職場に行くことを妨害したり、外出先を制限する	1 74.9% どんな場合でも暴力に当たる	2 12.9% 暴力に当たる場合と当たらない場合がある	3 3.7% 暴力には当たらない	無回答	8.5%
⑫何を言っても長時間無視し続ける	1 60.2% どんな場合でも暴力に当たる	2 26.0% 暴力に当たる場合と当たらない場合がある	3 5.2% 暴力には当たらない	無回答	8.7%
⑬「誰のおかげで生活できるんだ」とか「甲斐性なし」と言う	1 72.8% どんな場合でも暴力に当たる	2 14.8% 暴力に当たる場合と当たらない場合がある	3 3.8% 暴力には当たらない	無回答	8.6%
⑭相手や家族を傷つけるなどと告げておどす	1 82.8% どんな場合でも暴力に当たる	2 5.7% 暴力に当たる場合と当たらない場合がある	3 2.8% 暴力には当たらない	無回答	8.7%
⑮家計に必要な生活費を渡さない	1 73.2% どんな場合でも暴力に当たる	2 14.4% 暴力に当たる場合と当たらない場合がある	3 3.7% 暴力には当たらない	無回答	8.7%
⑯嫌がっているのに性的な行為を強要する	1 84.3% どんな場合でも暴力に当たる	2 5.5% 暴力に当たる場合と当たらない場合がある	3 1.8% 暴力には当たらない	無回答	8.3%
⑰避妊に協力しない	1 76.9% どんな場合でも暴力に当たる	2 11.0% 暴力に当たる場合と当たらない場合がある	3 2.8% 暴力には当たらない	無回答	9.3%

問20の①～⑰のうち、1つでも「2」、「3」とお答えの方に伺います

問20-1 その理由をお答えください。(〇はいくつでも)

1 配偶者や交際相手等の間ではよくあることだと思うから	16.6%	6 配偶者や交際相手等なら、相手の行動や交友関係を知るのは（知られるのは）当たり前だと思うから	6.5%
2 配偶者や交際相手等の間では許されると思うから	9.9%	7 愛情表現だと思うから	5.7%
3 けんかの範囲だと思うから	38.8%	8 配偶者や交際相手等の側にも非があったと思うから	26.1%
4 自分の考えを通すために必要な場合があると思うから	14.2%	9 その他（ ）	14.6%
5 相手の間違いを正すために必要な場合があると思うから	32.2%	無回答	6.7%

ここからはすべての方に伺います

問 21 あなたは、配偶者や交際相手等からの暴力の防止や被害者支援のためにどのような取組を充実すべきだと思いますか。
(〇はいくつでも)

1	身近な間柄であっても暴力は人権侵害であるという意識啓発	65.1%
2	家庭・学校における子どもの頃からの教育	60.5%
3	相談窓口・相談機関の周知・PR	43.9%
4	被害者の経済的な自立に向けた職業訓練や就職支援	33.3%
5	加害者に対するカウンセリング等の更生に向けた取組	34.7%
6	その他 ()	3.8%
7	わからない	4.7%
	無回答	6.2%

区では、荒川区配偶者暴力相談支援センターやアクト21等において、配偶者等からの暴力(DV)に関する相談を受け付けています。また、国の相談窓口(DV相談+、女性の人権ホットライン)や都の相談窓口(東京ウィメンズプラザ、東京都女性相談支援センター、ささえるライン(SNS相談))もあります。悩みを抱えているときは、一人で悩まず相談窓口へ相談しましょう。

区や都では、性的マイノリティの当事者の支援や地域の理解促進を図る一環として、LGBT 専門相談窓口を設置しているほか、令和4年に同性パートナーシップ制度を導入しました。

また、令和5年6月には、性の多様性に関する国民の理解増進を図ることを目的として、性的指向及びジェンダーアイデンティティ法(通称LGBT理解増進法)が制定されました。

※「LGBT」とは、レズビアン(女性同性愛者)・ゲイ(男性同性愛者)・バイセクシュアル(両性愛者)・トランスジェンダー(出生時に割り当てられた性と異なる性で生きる人あるいは生きたいと望む人)の頭文字をとった言葉であり、それ以外の多様な性の方々を含め、「LGBTQ」という言葉が使われることがあります。

問 22 この数年間で、LGBT等の性的マイノリティの方々に対する地域社会の理解が進んだと思いますか。
(〇は1つだけ)

1	7.9%	2	39.7%	3	19.2%	4	2.7%	5	25.0%
着実に進んだ		一定程度進んだ		あまり進んでいない		全く進んでいない		わからない 無回答	5.5%

問 23 性的マイノリティの当事者への配慮・支援に関し、人権を尊重するためにどのような取組が必要だと考えますか。
(〇は4つまで)

1	当事者に関する理解を深めるための啓発・広報活動の推進	34.4%
2	当事者やその家族、周囲の人からの相談機能の充実	28.6%
3	当事者の多様な性の悩みや疑問を同じ悩みを持つ方などと気楽に話せる場の充実	35.7%
4	学校や職場における理解の促進	49.6%
5	婚姻に関する関係法令の整備	29.8%
6	地域において理解者や支援者を増やす取組の推進	14.2%
7	その他 ()	3.7%
8	わからない	15.5%
	無回答	6.6%

区政への関心と要望

問 24 あなたは、区政にどの程度関心がありますか。(〇は1つだけ)

1 関心がある	15.1%	2 やや関心がある	44.3%	3 あまり関心がない	26.4%	4 関心がない	5.4%	5 わからない 無回答	4.5% 4.3%
------------	-------	--------------	-------	---------------	-------	------------	------	-------------------	--------------

問 25 区に意見・要望や相談することがある場合、どのような手段を利用したいですか。
(〇はいくつでも)

1	区の担当窓口などに来庁する	29.8%
2	区の担当窓口などに電話する	40.5%
3	「区民の声」などを送る	21.2%
4	電子メール、LINE等のチャットアプリを利用する	36.6%
5	パソコンやスマートフォンを活用したテレビ電話を利用する	5.1%
6	議員を通じて伝える	8.3%
7	町会・自治会を通じて伝える	7.6%
8	その他 ()	2.8%
	無回答	7.0%

問 26 荒川区が行っている次の事業のうち、「今後、特に力を入れてほしいと思うもの」を、次の中からお選びください。(〇は5つまで)

1	地震・水害などの防災対策	62.4%	16	バリアフリー化の推進	14.1%
2	地域防犯の取組	33.9%	17	健康づくりなどの保健衛生施策の充実	6.9%
3	子どもの安全対策	25.2%	18	感染症対策の充実	7.4%
4	文化芸術の振興	5.8%	19	幼児・児童の子育て支援の充実	17.3%
5	生涯学習・社会教育の振興	7.1%	20	青少年健全育成の推進	3.6%
6	スポーツの振興	5.7%	21	魅力ある景観づくり、木造住宅密集 地域の改善など街づくりの推進	14.6%
7	産業の振興	7.4%	22	道路・交通網の整備	17.0%
8	消費生活に関する相談などの 消費者対策	4.7%	23	放置自転車対策	5.4%
9	就労支援の充実	7.4%	24	公園の整備充実・緑化の推進	14.0%
10	観光振興などによる地域のイメージ アップ	5.7%	25	良好な住宅の確保などの住宅対策	8.9%
11	リサイクルなどの環境配慮活動の推進	6.3%	26	学校教育の充実	11.9%
12	騒音・ポイ捨て対策などの良好な 生活環境のための施策の充実	18.1%	27	区報や区民の声などの広報・広聴活動	2.5%
13	低所得者に対する福祉の充実	11.7%	28	その他 ()	5.9%
14	高齢者福祉の充実	25.2%	29	特になし	2.3%
15	心身障がい者(児)福祉の充実	8.0%		無回答	5.9%

あなたご自身について

最後に、お答えいただいた「あなた」ご自身のことについておたずねします。これまでお答えいただいたことを統計的に分析するために必要なものですので、是非ご記入ください。

F 1 年代

1	18・19 歳	1.1%	6	40～44 歳	6.9%	11	65～69 歳	7.6%
2	20～24 歳	3.2%	7	45～49 歳	8.6%	12	70～74 歳	8.4%
3	25～29 歳	5.2%	8	50～54 歳	9.6%	13	75～79 歳	8.0%
4	30～34 歳	5.8%	9	55～59 歳	8.4%	14	80 歳以上	10.3%
5	35～39 歳	7.1%	10	60～64 歳	7.5%		無回答	2.3%

F 2 現在お住まいの地域

1	南 千 住 () 丁目	21.2%	5	西 尾 久 () 丁目	12.0%
2	荒 川 () 丁目	17.3%	6	東日暮里 () 丁目	12.8%
3	町 屋 () 丁目	13.4%	7	西日暮里 () 丁目	9.2%
4	東 尾 久 () 丁目	11.5%		無回答	2.7%

F 3 ご職業

1	自営業主・事業主	9.0%	5	学生	2.5%
2	会社員・公務員	39.7%	6	無職（年金生活を含む）	20.9%
3	パート・アルバイト・非常勤	16.0%	7	その他 ()	1.4%
4	家事専業	7.3%		無回答	3.2%

F 4 同居世帯の人数（あなた自身を含みます）

1	1 人	21.4%	3	3 人	21.7%	5	5 人	4.0%
2	2 人	33.4%	4	4 人	15.5%	6	6 人以上	1.5%
							無回答	2.5%

F 5 同居世帯の構成

1	一人暮らし	20.5%	4	三世代家族（親と子どもと孫）	3.7%
2	夫婦のみ（事実婚、パートナーを含む）	24.8%	5	その他	5.0%
3	二世代家族（親と子ども）	41.2%		無回答	4.9%

F 6 同居しているお子様について

1 同居している子どもはいない、独身、夫婦のみ（事実婚、パートナーを含む）など	45.3%	3 一番上の子どもが小・中学生	8.1%
2 一番上の子どもが小学校入学前	6.4%	4 一番上の子どもが高校生・大学生	8.0%
		5 一番上の子どもが学校卒業 無回答	12.6% 19.6%

F 7 お住まいの形態

1 持ち家（一戸建て）	34.1%	4 借家（集合住宅）	27.2%
2 持ち家（集合住宅）	32.1%	5 寮・社宅	1.3%
3 借家（一戸建て）	2.5%	6 その他（ ） 無回答	0.9% 1.9%

F 8 性別

1 男 40.9%	2 女 56.4%	3 その他（どちらでもない、わからない） 無回答	0.4% 2.3%
-----------	-----------	-----------------------------	--------------

F 9 外国人住民の皆様の意向や生活意識などを把握させていただくため、
外国籍の方は、右の□の中に○印を記入してください。

4.4%

区政についてのご意見・ご要望がありましたら、ご記入ください。

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

